

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年前期	3	1	教職必修
担当教員			
松本 直己			
添付ファイル			

講義概要	演習とは、授業のテーマに即してレポートや小論文などを作成・発表し、グループ討議等を通して理解を深める授業形式（ゼミとも）です。 この演習では、今日の学校教育が直面している様々な教育問題を取り上げ、グループワークによる意見発表や討論を通して理解を深め、「生きる力」を育む教師としての視野と知見を広げるための演習を行います。		
授業計画	1	オリエンテーション 教職総合演習のねらいと指導計画、演習（エクササイズ）の進め方、課題とレポート、評価方法等	
	2	講義 高等学校学習指導要領の解説	
	3	講義と演習 教育時事問題に関する解説と討論 1	
	4	講義と演習 教育時事問題に関する解説と討論 2	
	5	講義 課題研究とは。レポート作成技術と資料検索。個人研究テーマの選択	
	6	課題研究（レポート）の発表と意見交換、講評 1 個人研究レポートの発表及び意見交換、演習	
	7	課題研究（レポート）の発表と意見交換、講評 2 個人研究レポートの発表及び意見交換、演習	
	8	課題研究（レポート）の発表と意見交換、講評 3 個人研究レポートの発表及び意見交換、演習	
	9	課題研究（レポート）の発表と意見交換、講評 4 個人研究レポートの発表及び意見交換、演習	
	1 0	模擬授業準備 1 学習指導案作成の留意点及び作成指導	
	1 1	模擬授業準備 2 学習指導案作成の留意点及び作成指導 2	
	1 2	模擬授業準備（板書研究） 板書の書き方、工夫点を中心に演習	
	1 3	模擬授業準備（ICT機器の活用） 1 ICT機器の活用による教育効果について	
	1 4	模擬授業準備（ICT機器の活用） 2 ICT機器の活用と注意点について	
	1 5	まとめと総合演習	
授業形態	講義、演習（エクササイズ）、討論と発表、教育技法の実習（模擬授業準備等）、学習指導案作成、レポート作成等で展開します。 アクティブラーニング：①：8回, ②：4回, ③：2回, ④：0回, ⑤：0回, ⑥：2回		
達成目標	・時事問題や教育問題に興味・関心を持ち、教師としての視野と知見を広げること ・興味あるテーマについて深く調査する姿勢や基本的な調査方法（文献・ネット検索）を身に付けること ・資料を分析・整理し、自己の考え・意見をまとめ、他人に分かるように説明・発表することができること ・模擬授業を実施するための準備		
評価方法・フィードバック	演習態度、意見発表及び個人研究レポート等により総合的に評価します。原則として、レポート等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する。		
評価基準	秀＝目標達成90～100％ 優＝目標達成80～89％ 良＝目標達成70～79％ 可＝目標達成60～69％ 不可＝目標達成59％以下		
教科書・参考書	参考書：文部科学省「高等学校学習指導要領」総則 他に関連図書、新聞ニュース・雑誌記事、視聴覚教材、プリント等を、適宜、使用予定		
履修条件	教職志望者であること		

履修上の注意	学校教育に関するニュースや社会の動きなどに関心を持つこと
準備学習と課題の内容	ワードやエクセルなどの情報機器の操作技能、ネット検索、レポートの書き方等をマスターしていること (毎回、予習復習それぞれ1.5時間程度)
ディプロマポリシーとの関連割合 (必須)	知識・理解:25%, 思考・判断:25%, 関心・意欲:25%, 態度:10%, 技能・表現:15%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	